【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-51616(P2010-51616A)
【公開日】平成22年3月11日(2010.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2010-010
【出願番号】特願2008-220771(P2008-220771)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｇ　1/16　(2006.01)
Ａ４７Ｋ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｇ　1/16　Ｈ
Ａ４７Ｋ　1/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月22日(2011.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
取付面に取り付けられる鏡と、
前記取付面に前記鏡を支持する鏡取付具と、
を備える鏡取付構造であって、
前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、
前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、
前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする鏡取付構造。
【請求項２】
前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、
前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定されることを特徴とする請求項１に記載の鏡取付構造。
【請求項３】
前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、
前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられることを特徴とする請求項１または２に記載の鏡取付構造。
【請求項４】
前記第２の鏡支持部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなることを特徴とする請求項３に記載の鏡取付構造。
【請求項５】
前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成されることを特徴とする請求項１乃

至４のいずれか１つに記載の鏡取付構造。
【請求項６】
取付面に取り付けられる鏡を支持する鏡取付具を備える鏡取付器具であって、
前記鏡取付具は、前記鏡の下部を支持する第１の鏡支持部材と、を有しており、
前記第１の鏡支持部材は、前記鏡を挟持する鏡挟持部と、前記鏡挟持部に固定され第１の鏡支持部材内部に水が侵入することを防止する止水部と、からなり、
前記止水部は、弾性シール部材と、前記弾性シール部材の表面に積層され、前記鏡に接する部分に形成された滑性表面層と、から形成されることを特徴とする鏡取付器具。
【請求項７】
前記鏡挟持部は、前記取付面に対して前記第１の鏡支持部材を固定する第１の固定部と、前記第１の固定部の下端から手前側に突出し前記鏡を支持する下面部と、前記下面部の前記鏡に対して手前側が上方へ折曲される第１の前面部と、前記鏡に押圧をかける押圧部と、からなり、
前記止水部は、前記第１の前面部の裏側に固定されることを特徴とする請求項６に記載の鏡取付器具。
【請求項８】
前記鏡取付具は、前記鏡の上部を支持する第２の鏡支持部材と、を有しており、
前記鏡は、前記第１の鏡支持部材と、前記第２の鏡支持部材と、により前記取付面に取り付けられることを特徴とする請求項６または７に記載の鏡取付器具。
【請求項９】
前記第２の鏡支持部材は、前記取付面に対して前記第２の鏡支持部材を固定する第２の固定部と、前記第２の固定部の上端から手前側に突出する上面部と、前記上面部の先端が下方へ折曲される第２の前面部と、からなることを特徴とする請求項８に記載の鏡取付器具。
【請求項１０】
前記弾性シール部材は熱可塑性エラストマーで形成されることを特徴とする請求項６乃至９のいずれか１つに記載の鏡取付器具。